

平成16年度事務事業評価表

担当	教育委員会	庶務課	内線等	1622
事業コード		事務事業名	(財)蒲郡市教育文化振興会事業	
根拠法令等	愛知県教育委員会の所管に属する公益法人の設立及び監督に関する規則 (財)蒲郡市教育文化振興会寄付行為	A法令	B条例	C規則
			Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育

②事務事業の内容

対象(受益者)	市内の小・中学生及び市民団体に対し
手 段	(財)蒲郡市教育文化振興会により、海外派遣、顕彰、助成等を行うことによって
想定する成果	国際感覚の養成及び教育・文化・スポーツの振興に寄与する。

③事業の概要

(円)

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
運 用 財 産	6,864,575	4,341,215	908,702
補 助 金	2件 2,455,000	2件 2,455,000	2件 2,455,000
事 業 費	5,052,206	5,021,289	5,070,000
うち海外派遣費等	3,634,330	4,010,000	3,910,000
うち助成費	8件 1,120,000	5件 820,000	5件 820,000
うち顕彰費	7団体21人 297,876	4団体18人 191,289	7団体25人 340,000

④成果指標

①

②

成果指標名	事業費のうち海外派遣費等が占める割合	運用財産の前年比
成果指標の説明	海外派遣費/事業費×100	当年運用財産/前年運用財産×100

⑤事業の進捗状況

(一般会計)

(千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	77.1%
	実績	71.9%	79.9%	
成果指標 ②	計画	—	—	20.9%
	実績	67.7%	63.2%	
事業費	事業費	—	—	—
	人件費	2,435	2,411	2,484
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	2,435	2,411	2,484
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	2,435	2,411	2,484

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	1	1	低金利に伴い運用財産が減少し、事業規模が年々減少している。
経済効率性	2	2	投入された予算は厳しいが、ほぼ予算に見合った成果をあげている。
事務効率性	2	2	投入された人員にほぼ見合った成果をあげている。
必要性	2	2	唯一の中学生の国際交流の場であり、また寄付行為に基づく事業である。予算上厳しいが、何らかの方法で継続したい。
小計	7 /12 満点中	7 /12 満点中	
市民参加度	2	2	教育・文化に関わる各種団体が関与している。
合計	9 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

各種団体への助成金のカット及び減額、事務費及び事業費における諸経費の節約等して、運用財産の確保に努力している。

⑧今後改善すべき点

当法人の事業運営に充当する運用財産が、低金利等のために年々減少し、17年度中に底をつく見込みである。このため基本財産である預金を取り崩して運用財産に繰り入れ充当するとともに、役員会などを開催しながら、今現在の事業を継続することを前提に、今後の当法人としてのあり方、方向性を検討していきたい。

⑨平成18年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	教育委員会	庶務課	内線等	1622
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	小学校一般運営事業				
根拠法令等			A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育

②事務事業の内容

対象（受益者）	各小学校が
手 段	学校一般運営費を執行することによって
想定する成果	小学校教育の充実及び学校環境の整備・充実を図る。

③事業の概要

学校一般運営費	151,063千円	147,338千円	139,662千円
学 校 数	13校	13校	13校
児 童 数 (5月1日現在)	4,846人	4,783人	4,773人

④成果指標

成果指標名	① 1校当りの学校一般運営費	② 児童1人当りの学校一般運営費
成果指標の説明	学校一般運営費/学校数	学校一般運営費/児童数

⑤事業の進捗状況（一般会計）

(千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	10,743
	実績	11,620	11,334	—
成果指標 ②	計画	—	—	29
	実績	31	31	—
事業費	事業費	151,063	147,338	139,662
	人件費	6,494	6,429	6,624
	(人数)	0.8	0.8	0.8
	合計	157,557	153,767	146,286
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	157,557	153,767	146,286

⑥事務事業内容の評価

項 目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	財政難により各校ごとの予算額は、毎年減少している。特に老朽化しつつある建物の修繕費がままならない。
経済効率性	2	2	投入された予算に見合った成果をあげている。
事務効率性	2	2	投入された人員で効率的に実施している。
必要性	3	3	教材・教具及び学校環境の整備・充実を図るため必要である。
小 計	9 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	—	—	
合 計	9 /12 満点中	9 /12 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

光熱水費の節約に努めている。特に電気代の節約として、基本料金を上げない工夫、例えば電灯をこまめに切ったりクーラーの同時使用を避けたり等して真剣に取り組んでいる。

⑧今後改善すべき点

今後も各校ごとの予算額の減少が予想されるが、効率的・効果的な予算執行が行われるよう各校を指導していく。

⑨平成18年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	教育委員会	庶務課	内線等	1622
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	中学校一般運営事業				
根拠法令等			A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育

②事務事業の内容

対象（受益者）	各中学校が
手 段	学校一般運営費を執行することによって
想定する成果	中学校教育の充実及び学校環境の整備・充実を図る。

③事業の概要

学校一般運営費	112,871千円	110,047千円	110,360千円
学 校 数	7校	7校	7校
生 徒 数 (5月1日現在)	2,582人	2,528人	2,468人

④成果指標

	①	②
成果指標名	1校当りの学校一般運営費	生徒1人当りの学校一般運営費
成果指標の説明	学校一般運営費/学校数	学校一般運営費/生徒数

⑤事業の進捗状況（一般会計）（千円）

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	15,766
	実績	16,124	15,721	—
成果指標 ②	計画	—	—	45
	実績	44	44	—
事業費	事業費	112,871	110,047	110,360
	人件費	6,494	6,429	6,624
	(人数)	0.8	0.8	0.8
	合計	119,365	116,476	116,984
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	119,365	116,476	116,984

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	財政難により各校ごとの予算額は、毎年減少している。特に老朽化しつつある建物の修繕費がままならない。ただ、17年度予算については、楽器購入の特別枠が盛り込まれたため、予算額の減少は免れた。
経済効率性	2	2	投入された予算に見合った成果をあげている。
事務効率性	2	2	投入された人員で効率的に実施している。
必要性	3	3	教材・教具及び学校環境の整備・充実を図るため必要である。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

光熱水費の節約に努めている。特に電気代の節約として、基本料金を上げない工夫、例えば電灯をこまめに切ったりクーラーの同時使用を避けたり等して真剣に取り組んでいる。

⑧今後改善すべき点

今後も各校ごとの予算額の減少が予想されるが、効率的・効果的な予算執行が行われるよう各校を指導していく。

⑨平成18年度予算に反映する項目

17年度学校一般運営費予算の中に、特別枠で楽器購入費、トラック購入費がついたが、楽器購入費だけは継続していただきたい。

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	教育委員会	庶務課	内線等	1622
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	小学校教材備品充実事業				
根拠法令等	学校教育設備整備費等補助金交付要綱		A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育

②事務事業の内容

対象(受益者)	児童のために
手 段	各小学校に備品購入費を配当することにより
想定する成果	学校における教材備品及び理科備品の充実を図る。

③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
教材備品充実費	12,096千円	9,963千円	8,353千円
学 校 数	13校	13校	13校
児 童 数 (5月1日現在)	4,846人	4,783人	4,773人

④成果指標

	①	②
成果指標名	1校当りの教材備品充実費	児童1人当りの教材備品充実費
成果指標の説明	教材備品充実費/学校数	教材備品充実費/児童数

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	643
	実績	930	766	—
成果指標 ②	計画	—	—	1,750円
	実績	2,496円	2,083円	—
事業費	事業費	12,096	9,963	8,353
	人件費	812	804	828
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	12,908	10,767	9,181
財源内訳	国	793	696	686
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	12,115	10,071	8,495

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	財政難により教材・理科備品の充実が遅れている。
経済効率性	2	2	投入された予算にほぼ見合った成果をあげている。
事務効率性	2	2	一人の職員で効率的に実施している。
必要性	3	3	小学校の教材・理科備品を充実させるため必要である。
小計	9 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	9 /12 満点中	9 /12 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	財政難で毎年予算が縮小され備品の充実に遅れが生じているが、逆に購入したい備品を校内運営委員会でしっかり検討し、有効に活用している。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

備品購入にあたり、校内運営委員会を通じて優先順位等を決め、しっかり検討するよう指導した。

⑧今後改善すべき点

⑨平成18年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成16年度事務事業評価表

担当	教育委員会	庶務課	内線等	1622
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	中学校教材備品充実事業				
根拠法令等	学校教育設備整備費等補助金交付要綱		A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育

②事務事業の内容

対象（受益者）	生徒のために
手 段	各中学校に備品購入費を配当することにより
想定する成果	学校における教材備品及び理科備品の充実を図る。

③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
教材備品充実費	7,283千円	6,819千円	6,326千円
学 校 数	7校	7校	7校
生 徒 数 (5月1日現在)	2,582人	2,528人	2,468人

④成果指標

	①	②
成果指標名	1校当りの教材備品充実費	生徒1人当りの教材備品充実費
成果指標の説明	教材備品充実費/学校数	教材備品充実費/生徒数

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	904
	実績	1,040	974	—
成果指標 ②	計画	—	—	2,563円
	実績	2,821円	2,697円	—
事業費	事業費	7,283	6,819	6,326
	人件費	812	804	828
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	8,095	7,623	7,154
財源内訳	国	854	722	674
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	7,241	6,901	6,480

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	財政難により教材・理科備品の充実が遅れている。
経済効率性	2	2	投入された予算にほぼ見合った成果をあげている。
事務効率性	2	2	一人の職員で効率的に実施している。
必要性	3	3	中学校の教材・理科備品を充実させるため必要である。
小計	9 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	9 /12 満点中	9 /12 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	財政難で毎年予算が縮小され備品の充実に遅れが生じているが、逆に購入したい備品を校内運営委員会でしっかり検討し、有効に活用している。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

備品購入にあたり、校内運営委員会を通じて優先順位等を決め、しっかり検討するよう指導した。

⑧今後改善すべき点

⑨平成18年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載